



2018年3月期決算説明会 (2017年4月1日～2018年3月31日)



Global Logistics Partner

2018年5月14日

Global Logistics Partner
株式会社 近鉄エクスプレス

kintetsu world express

■ 2018年3月期決算概要 および2019年3月期業績見通しについて

- 02 2018年3月期の業績
- 03 営業収入と原価・販売管理費の比較
- 04 貸借対照表-1
- 05 貸借対照表-2
- 06 キャッシュ・フロー計算書
- 07 営業収入・営業利益のセグメント別内訳
- 08 セグメント別営業利益率
- 09-11 2018年3月期 セグメント別 概況
- 12 営業収入の事業別内訳
- 13 輸送モード別の営業粗利益率
- 14 2019年3月期業績見通し(予想)
- 15 2019年3月期業績予想の
事業別・セグメント別内訳

■ 今後の事業拡大に向けた施策

- 17 中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要
- 18 中期経営計画3ヵ年の実績と目標値
- 19 セグメント別営業収入・営業利益の目標(2018年度)
- 20 航空・海上物量の推移・目標
- 21 2018年度の重点施策
- 22 APLLとのコラボレーション/インテグレーション
- 23 今期の見通し
- 24 配当について

■ 参考資料

- 26 セグメント別物量実績(航空)
- 27 セグメント別物量実績(海上)
- 28 航空輸送物量取扱実績(仕向地別構成比)
- 29 当社グループのグローバル・ネットワーク

2018年3月期の業績

件数(千件) 重量(千トン) 容積(千TEU) 金額(百万円)

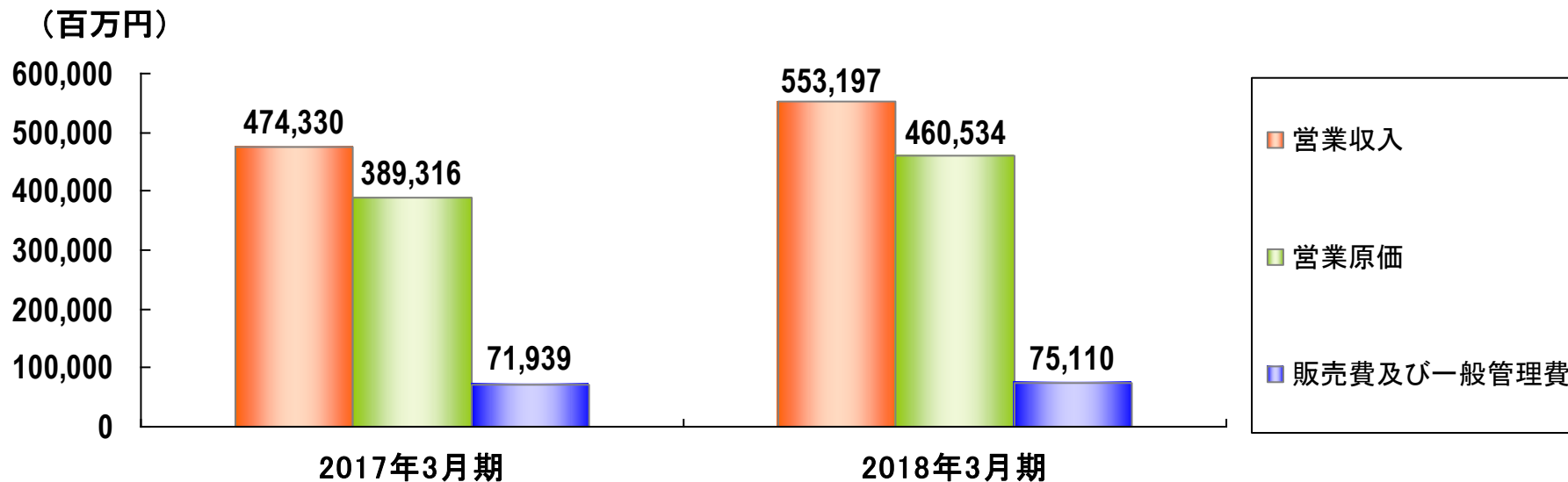
項目	2017年3月期実績		2018年3月期実績		2018年3月期予想 (2017年11月9日修正)
		前年同期比増減率		前年同期比増減率	
航空輸出重量	495	8.4	580	17.0	—
航空輸入件数	1,207	0.0	1,328	10.0	—
海上輸出容積	556	22.3	663	19.3	—
海上輸入件数	245	2.9	277	13.1	—
営業収入	474,330	12.9	553,197	16.6	525,000
営業総利益	85,014	18.5	92,662	9.0	—
営業利益	13,075	△14.9	17,551	34.2	15,000
経常利益	13,036	△27.2	17,345	33.1	15,000
税金等調整前 当期純利益	12,486	△30.0	16,879	35.2	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (旧: 当期純利益)	4,487	△54.1	7,002	56.1	5,500

適用レート	2017年3月期	2018年3月期 第2四半期	2018年3月期
対USDドル	108.38円	111.06円	110.85円
対EURO	118.79円	126.29円	129.70円
対香港ドル	13.97円	14.24円	14.20円
対中国元	16.11円	16.42円	16.75円

指標	2017年3月期	2018年3月期
EPS	62.33円	97.26円
BPS	1627.84円	1662.72円
ROE	3.7%	5.9%

為替による影響額(連結)
営業収入: +14,802百万円、営業利益: +593百万円

営業収入と原価・販売管理費の比較



(百万円)

	2017年3月期	対営業収入比	2018年3月期	対営業収入比
営業収入	474,330	100.0%	553,197	100.0%
営業原価	389,316	82.1%	460,534	83.2%
販売費及び一般管理費	71,939	15.2%	75,110	13.6%
営業利益	13,075	2.8%	17,551	3.2%

貸借対照表－1

(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
(資産の部)			
流動資産	178,101	194,440	16,339
固定資産	201,142	195,832	△5,310
有形固定資産	46,109	46,749	639
無形固定資産	128,049	121,328	△6,720
投資その他の資産	26,983	27,754	770
資産合計	379,244	390,273	11,028
(負債の部)			
流動負債	104,450	123,414	18,964
固定負債	148,777	137,869	△10,907
負債合計	253,228	261,284	8,056
(純資産の部)			
純資産合計	126,016	128,988	2,972
負債純資産合計	379,244	390,273	11,028

貸借対照表-2

■有利子負債

(百万円)

2017年3月期	2018年3月期	前期比金額
165,677	165,676	△0

■設備投資額

(百万円)

2017年3月期	2018年3月期	前期比金額	2019年3月期 (予想)
6,319	10,299	+3,980	6,104

◆主な投資 (2018年3月期)

IT・ソフトウェア関連、物流施設関連(タイ等)、車両等

◆主な投資予定 (2019年3月期)

IT・ソフトウェア関連、物流施設関連(日本、APLL等)、事務所関連等

■減価償却費

(百万円)

2017年3月期	2018年3月期	前期比金額
7,095	7,932	+837

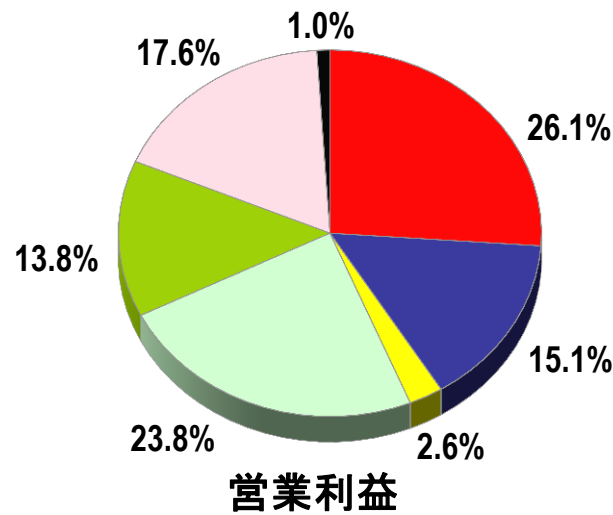
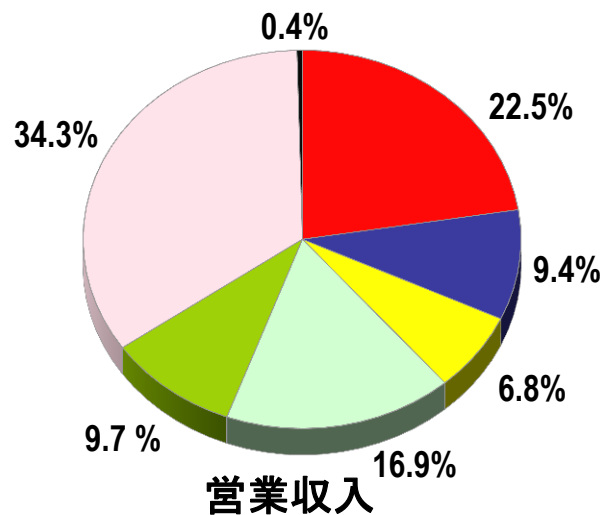
キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,589	15,063	473
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,342	△10,030	△4,687
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,657	△2,754	2,902
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,418	70	1,488
現金及び現金同等物の増減額	2,172	2,349	177
現金及び現金同等物の期首残高	63,903	65,506	1,602
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△569	—	569
現金及び現金同等物の期末残高	65,506	67,856	2,349

営業収入・営業利益のセグメント別内訳

セグメント別構成比 (2018年3月期)



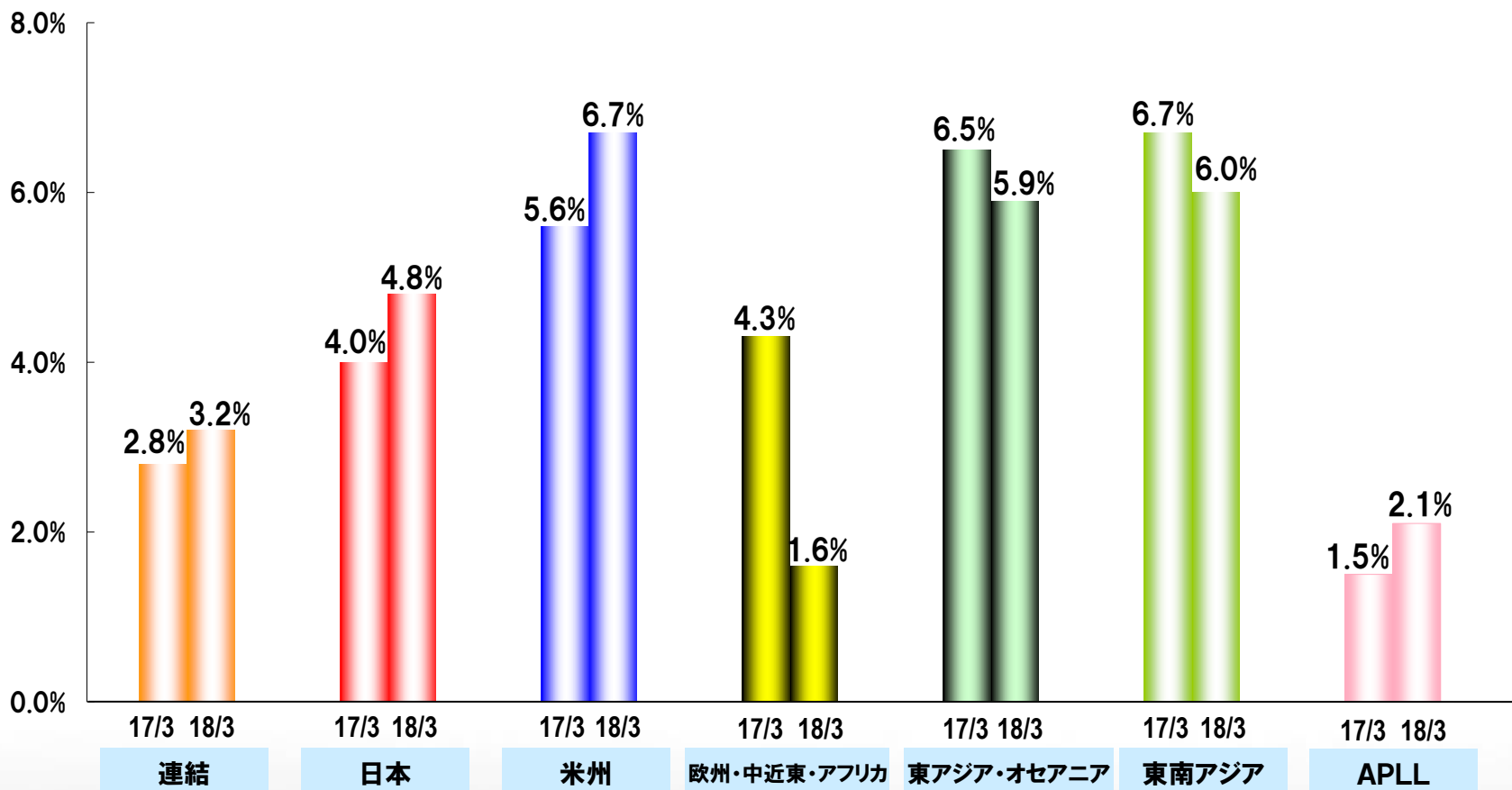
(百万円)

セグメント別	営業収入	前期比増減率	営業利益	前期比増減率
日本	127,807	15.8%	6,189	39.4%
米州	53,219	20.3%	3,582	44.1%
欧州・中近東・アフリカ	38,636	22.9%	623	△54.0%
東アジア・オセアニア	96,131	24.9%	5,634	13.4%
東南アジア	54,716	22.1%	3,257	9.1%
APLL	194,860	10.9%	4,159	55.7%
のれん等の償却	—	—	△6,145	—
その他	2,283	16.4%	244	34.2%
調整額	△14,458	—	4	—
合計	553,197	16.6%	17,551	34.2%

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

セグメント別営業利益率

2017年3月期／2018年3月期
(実績)



※APLLは、のれん等償却前の営業利益率です。

2018年3月期 セグメント別 概況

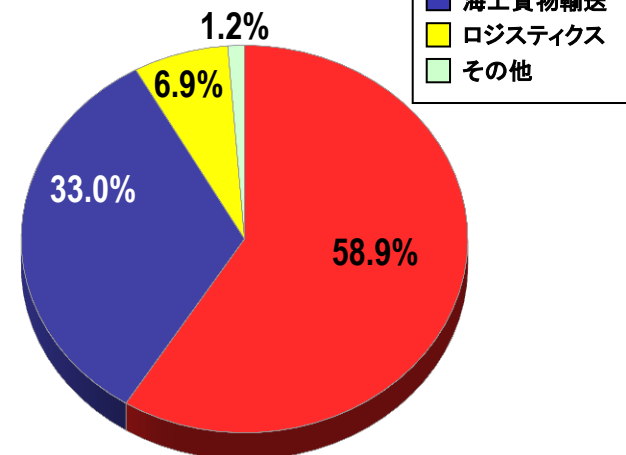
日本

単位:百万円

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業収入	110,344	127,807	17,462
営業利益	4,440	6,189	1,748

- ・ 単体は物量の増加と収益性の改善により好調に推移。
- ・ 国内関係会社も各社順調に推移。

営業収入の事業構成比



米州

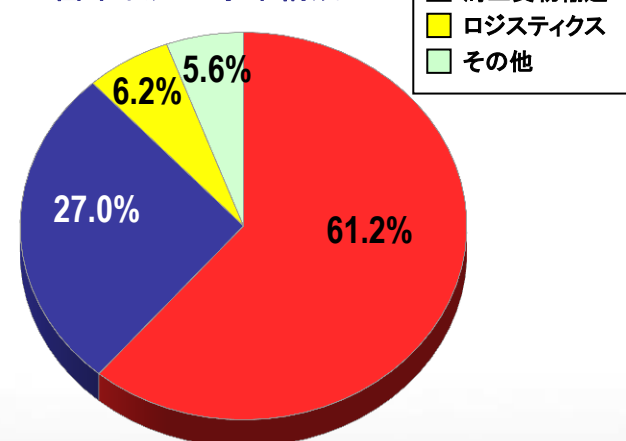
単位:百万円

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業収入	44,240	53,219	8,978
営業利益	2,486	3,582	1,096

- ・ 米国、カナダ、メキシコのすべてで航空・海上物量が増加し、順調に推移。
- ・ 為替影響

営業収入: +1,281百万円 営業利益: +73百万円

営業収入の事業構成比



2018年3月期 セグメント別 概況

欧州・中近東・アフリカ

単位：百万円

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業収入	31,442	38,636	7,194
営業利益	1,357	623	△733

- ・ 直接原価率の上昇と前期スポット貨物（仏、英）の反動が影響。独、露、伊が不振。
- ・ 為替影響

営業収入：+2,686百万円 営業利益：+101百万円

東アジア・オセアニア

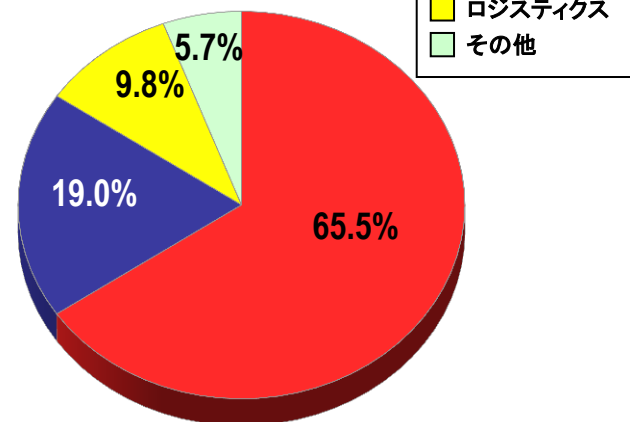
単位：百万円

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業収入	76,958	96,131	19,172
営業利益	4,969	5,634	664

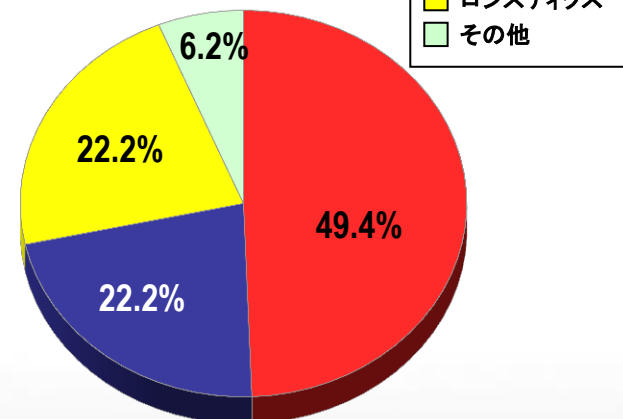
- ・ 大手顧客を中心に物量が増加した一方、直接原価率が上昇。ロジスティクス事業が拡大。
- ・ 為替影響

営業収入：+3,260百万円 営業利益：+219百万円

営業収入の事業構成比



営業収入の事業構成比



2018年3月期 セグメント別 概況

東南アジア

単位：百万円

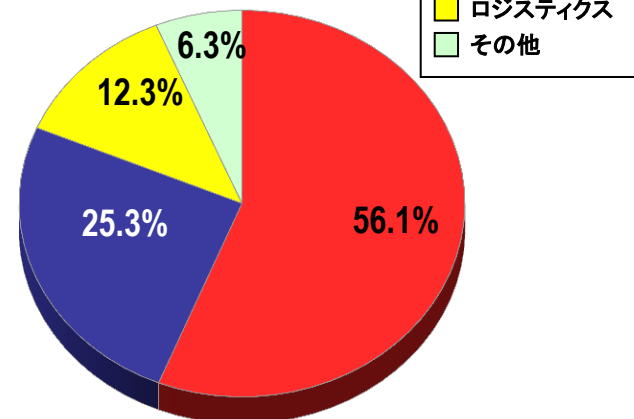
	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業収入	44,830	54,716	9,886
営業利益	2,985	3,257	271

・物量増の一方で直接原価率が上昇。フィリピン、ベトナムが好調。

・為替影響

営業収入：+2,122百万円 営業利益：+112百万円

営業収入の事業構成比



APLL

単位：百万円

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業収入	175,660	194,860	19,200
営業利益	△3,353	△1,986	1,367

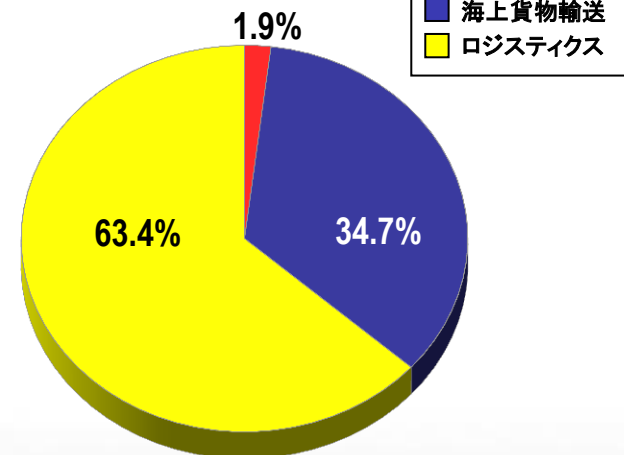
・事業は総じて堅調に推移。販管費の抑制が進捗。

・のれん等の償却前の営業利益は4,159百万円。

・為替影響

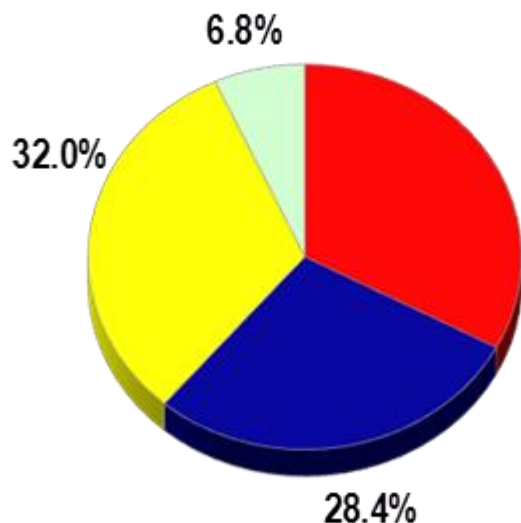
営業収入：+5,406百万円 営業利益：+82百万円

営業収入の事業構成比

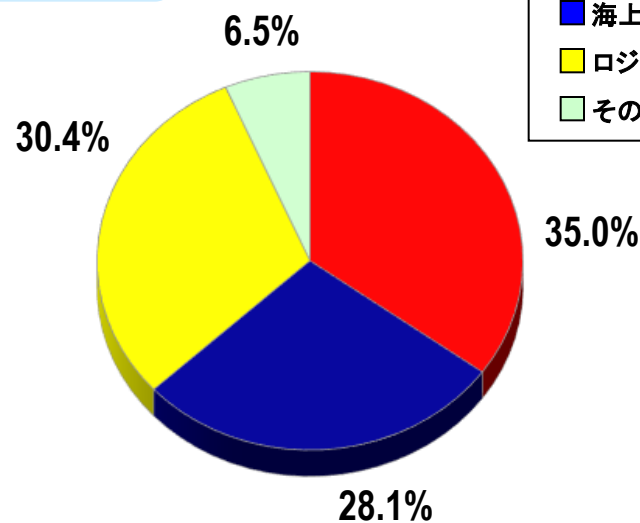


営業収入の事業別内訳

営業収入の事業別構成比



2017年3月期



2018年3月期

(百万円)

各事業		2017年3月期 (実績)		2018年3月期 (実績)	
		営業収入		営業収入	前年同期比増減率
貨物輸送事業	航空貨物輸送	155,486		193,354	24.4%
	海上貨物輸送	134,991		155,803	15.4%
	ロジスティクス	151,680		168,060	10.8%
	その他	32,172		35,978	11.8%
合計		474,330		553,197	16.6%

輸送モード別の営業粗利益率

* 営業粗利益＝営業収入－直接原価

	2017年3月期 (2Q累計)	2017年3月期	2018年3月期 (2Q累計)	2018年3月期
航空貨物輸送	30.2%	30.0%	27.8%	26.9%
海上貨物輸送	30.8%	31.0%	28.0%	28.4%

2019年3月期業績見通し(予想)

<2018年5月11日修正>

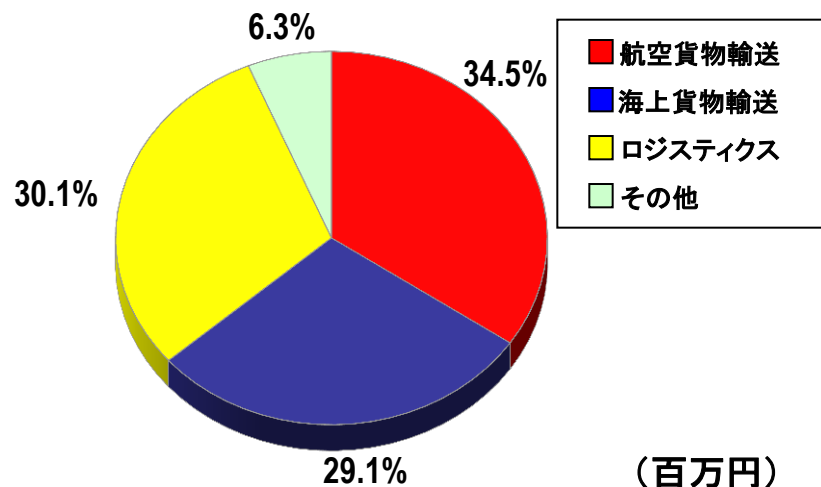
(百万円)

項目	2018年3月期(実績)		2019年3月期(予想)	
		前期増減率		前期増減率
営業収入	553,197	16.6%	585,000	5.7%
営業総利益	92,662	9.0%	99,800	7.7%
営業利益	17,551	34.2%	19,200	9.4%
経常利益	17,345	33.1%	18,600	7.2%
税金等調整前 当期純利益	16,879	35.2%	18,600	10.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,002	56.1%	8,700	24.2%

2019年3月期業績予想の事業別・セグメント別内訳

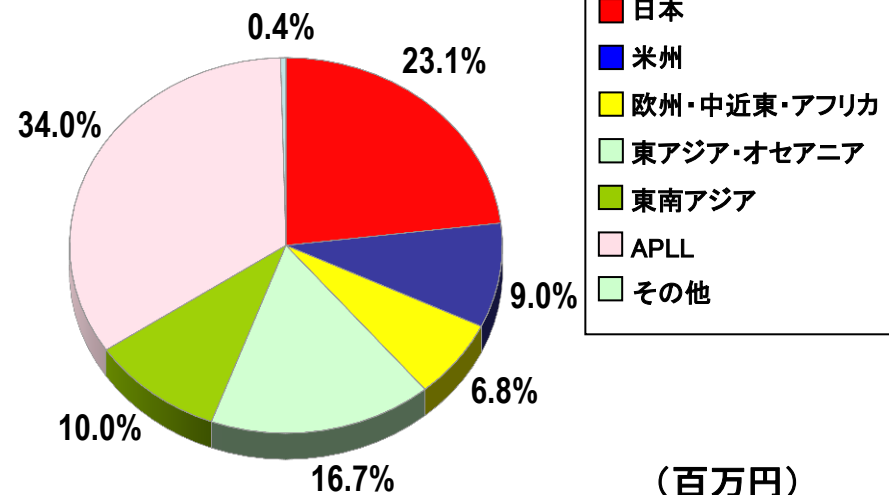
Global Logistics Partner

営業収入の事業別内訳



各事業		2019年3月期(予想)	
		営業収入	構成比
貨物輸送事業	航空貨物輸送	202,000	34.5%
	海上貨物輸送	170,000	29.1%
	ロジスティクス	176,000	30.1%
	その他	37,000	6.3%
合計		585,000	100.0%

営業収入のセグメント別内訳



セグメント別	2019年3月期(予想)	
	営業収入	営業利益
日本	138,500	6,100
米州	54,000	3,300
欧州・中近東・アフリカ	41,000	1,200
東アジア・オセアニア	100,000	5,400
東南アジア	60,000	3,300
APLL	204,000	5,800
のれん等の償却	—	△6,200
その他	2,500	300
調整額	△15,000	—
合計	585,000	19,200

今後の事業拡大に向けた施策

中期経営計画(2016年度～2018年度)の概要

ビジョン

サプライチェーン・ソリューションの提供により、お客様の事業戦略を支えるパートナーになる。

スローガン

“ Going to the Next Phase !”
～航空貨物70万トン、海上貨物70万TEUに向けて～

2018年度数値目標 (2018年5月11日修正)

営業収入 : 5,850億円 営業利益 : 192億円

<戦略の柱>

業界で最も多彩なサービスを提供する

生産・消費市場でお客様の物流ニーズを実現する

コーポレート力を結集し生産性を高める

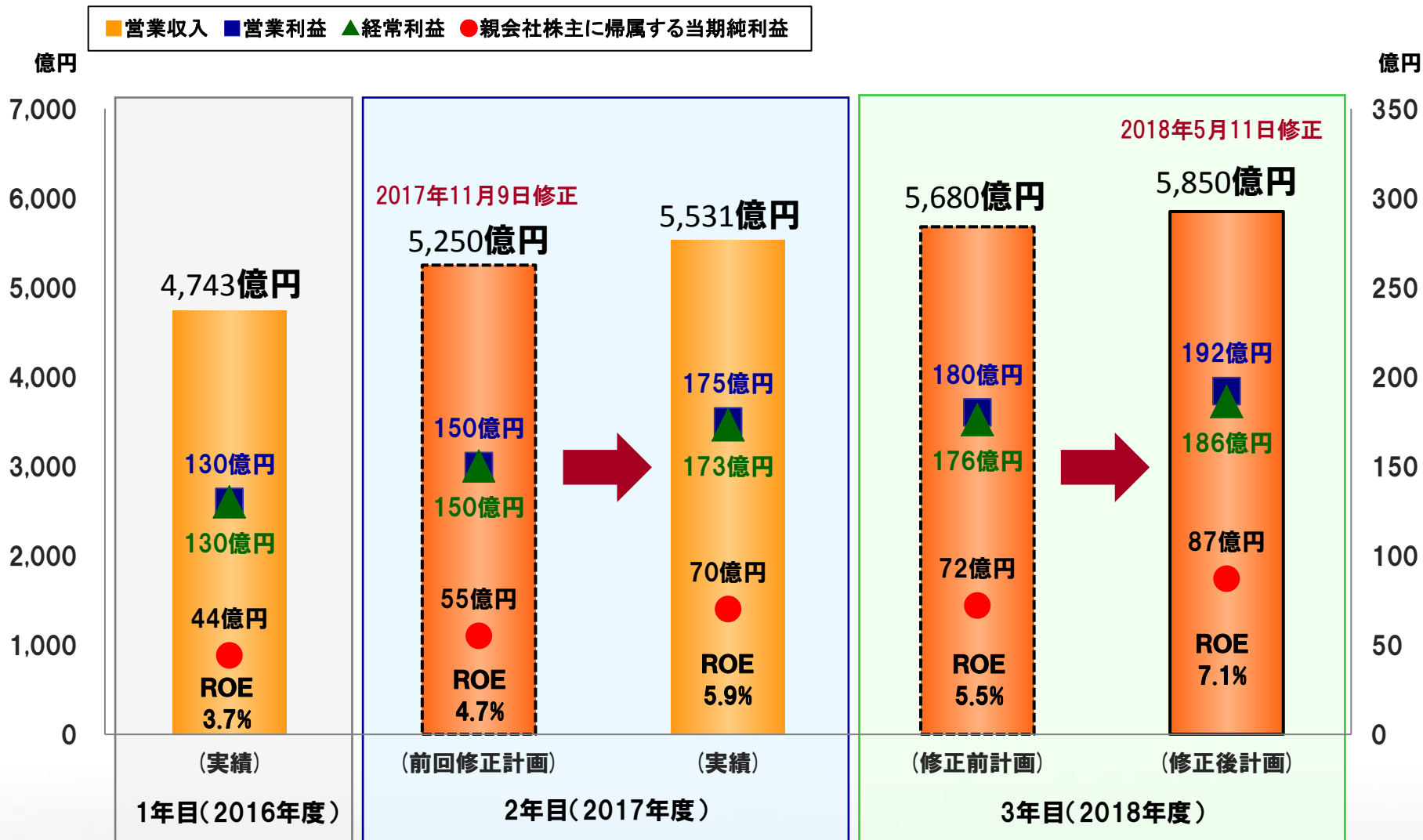
<戦略を支える経営基盤>

コーポレートリソースの
有効活用

コーポレートルスク
管理の強化

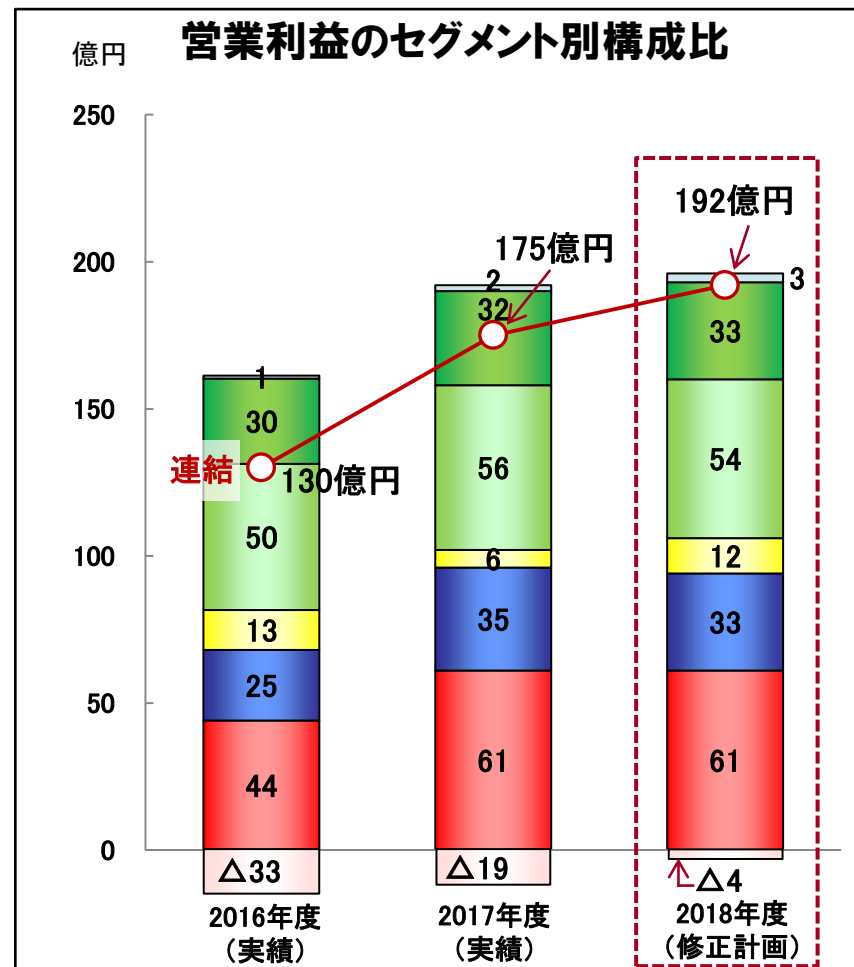
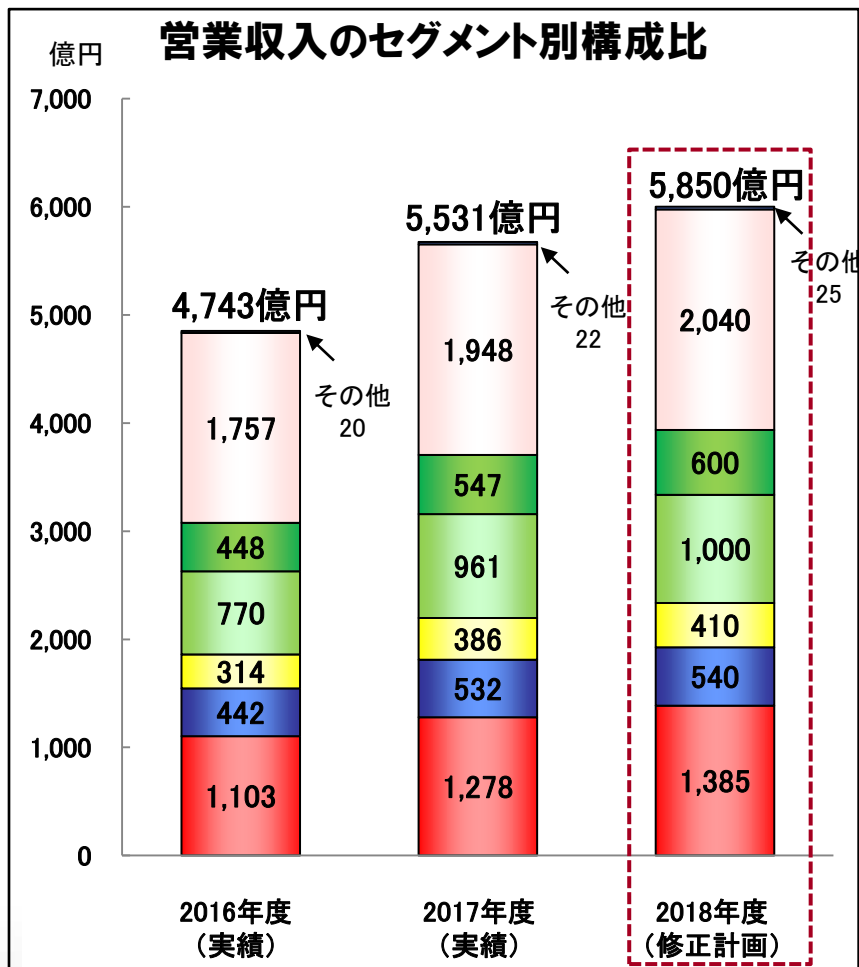
業務品質の向上

中期経営計画3カ年の実績と目標値



セグメント別営業収入・営業利益の目標(2018年度)

■ 日本 ■ 米州 ■ 欧州・中近東・アフリカ ■ 東アジア・オセアニア ■ 東南アジア APLL ■ その他

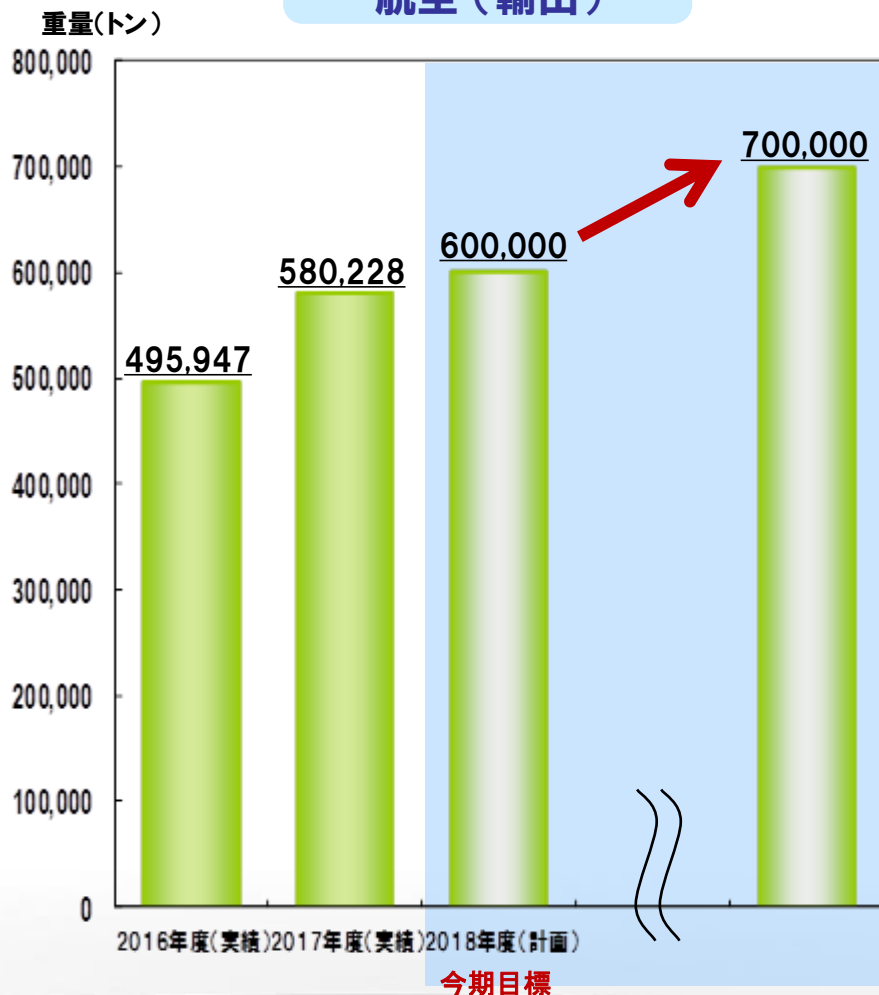


※営業収入の合計額は、内部消去を考慮しています。(2016年度は111億円、2017年度は144億円、2018年度計画は150億円)

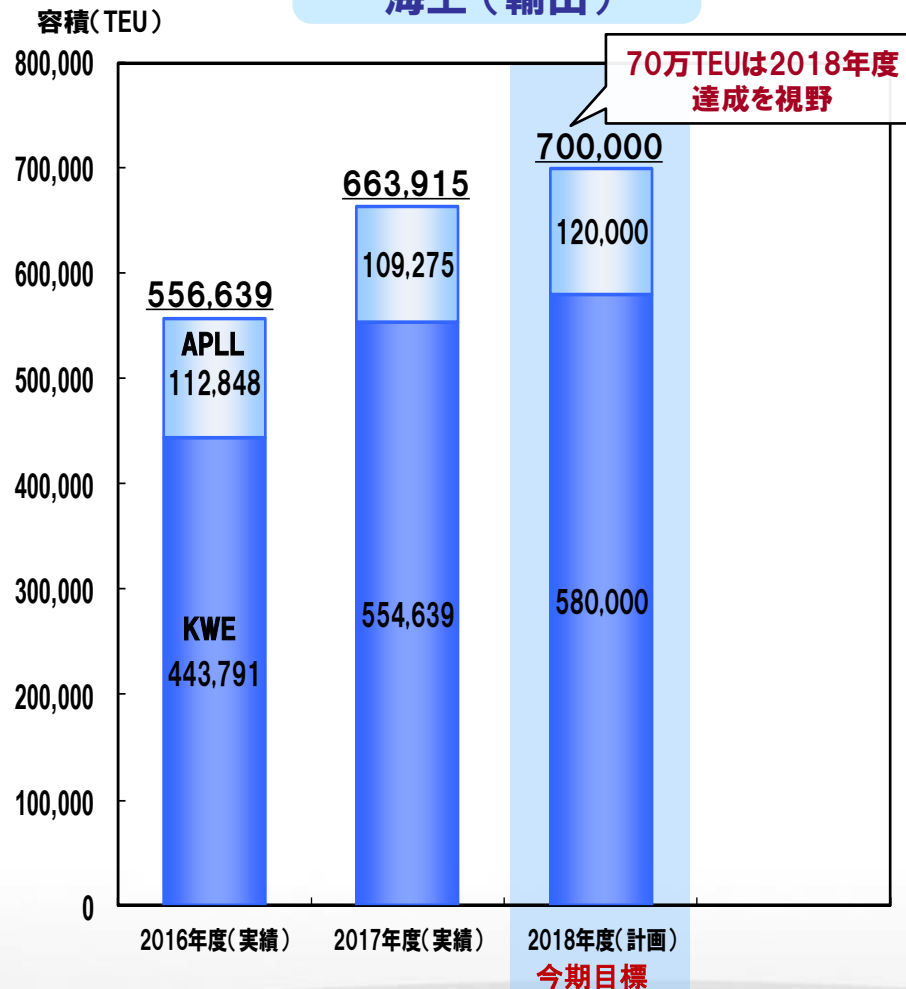
航空・海上物量の推移・目標

グローバル市場で戦うため、早期に航空70万トン・海上70万TEUの物量確保を目指す

航空（輸出）



海上（輸出）



2018年度の重点施策

1. TPEB (Trans-Pacific East Bound、アジア→米州) の物量の拡大
2. 欧米系企業とのビジネス拡大 - コーポレート・アカウントとのビジネス拡大
3. 品目別営業戦略の推進 (エレクトロニクス、自動車、ヘルスケア、リテール/コンシューマー)
4. 70万トン/70万TEUに向けた体制の整備
(人員の増強、オペレーション機能の強化)
5. 収支改善に向けた取り組みの継続
6. 最適なグループ経営に向けたグループガバナンスの強化
7. 人材の育成と人的資源の最適な配置

コラボレーション

◆KWE-APLLの共同販売 ～協業風土の拡大～

● KWE

- ・ 大手リテール関連品の顧客基盤が拡張
(アジア発航空輸送、日本での輸入通関・国内配送)
- ・ 既存施設の相互利用 (カナダ、シンガポール)

● APLL

- ・ KWEコーポレート・アカウントの4PL (中国)

インテグレーション

◆Group Procurement Center (本部:香港) の稼働 (2017年11月) ～グループ最適による海上輸送販売の支援体制の強化～

◆データセンター (米国) の統合 (2018年6月より稼働予定)

※旧親会社からのITシステムの分離は計画通り2018年5月末で終了予定

事業環境

プラス要因

旺盛な輸送需要の継続

- ・ 技術革新に伴う半導体・電子部品、自動車関連等の活況

×

マイナス要因

- ・ 運賃原価の上昇
- ・ 地政学的リスク ・ 為替の変動

当社グループの対応

運賃原価の上昇

顧客への転嫁、キャリアとの関係強化、混載効率の向上等により負の影響を最小限にとどめる。

物量拡大の方針

グローバル・プレーヤーとして認知される取扱物量を確保し、次の次元“Next Phase”へ近づくため、引き続き、物量拡大策を推し進めていく。

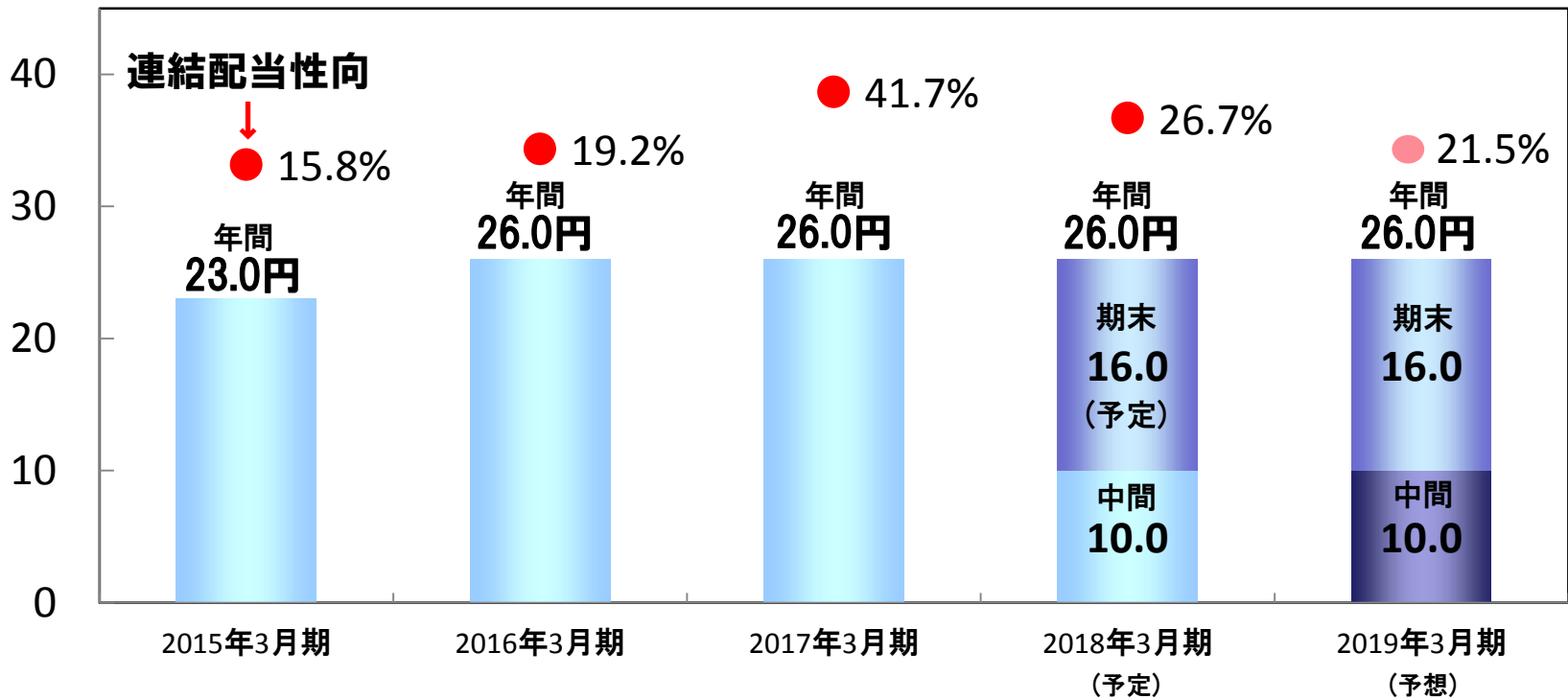
拡大に向けた体制の整備

さらなる物量拡大を見据えたオペレーション体制の整備、効率化の推進。

当社グループは、財務体質の強化および将来の国内外での事業展開に備え内部留保の充実を図りつつ、経営基盤の強化等を総合的に考慮しながら、安定的な配当の維持に努めることを基本方針としています。

1株当たり年間配当金(円)

1株当たり配当金・連結配当性向の推移

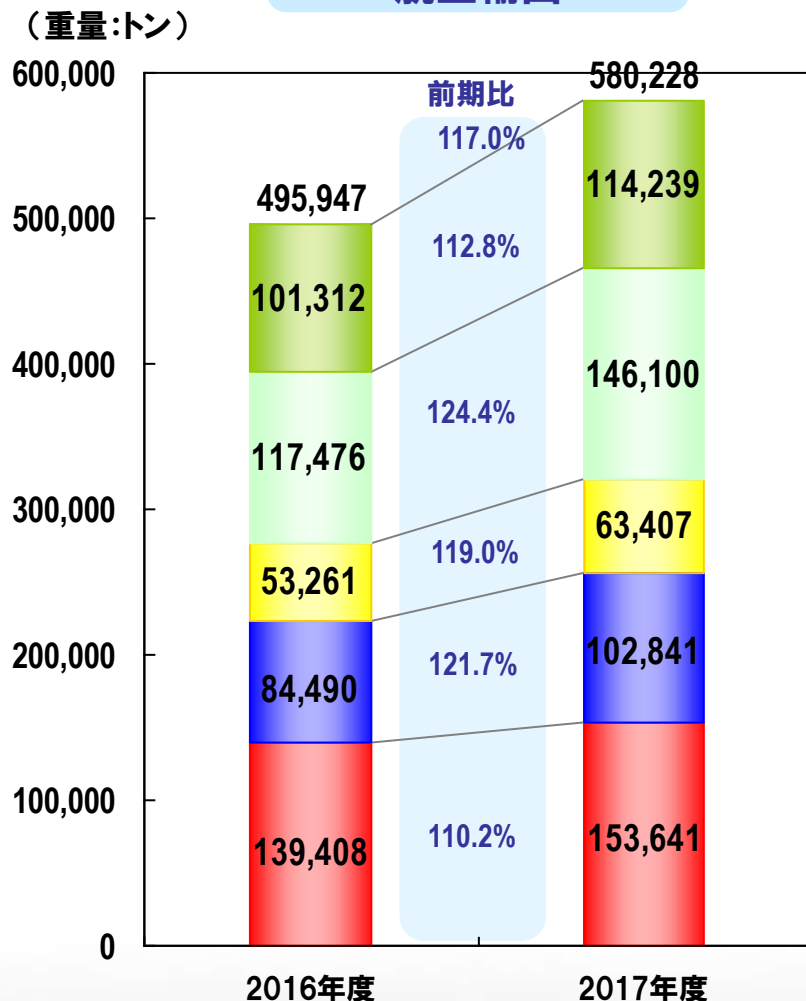


※当社は2015年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、上記グラフの1株当たり配当金は当該株式分割が2015年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

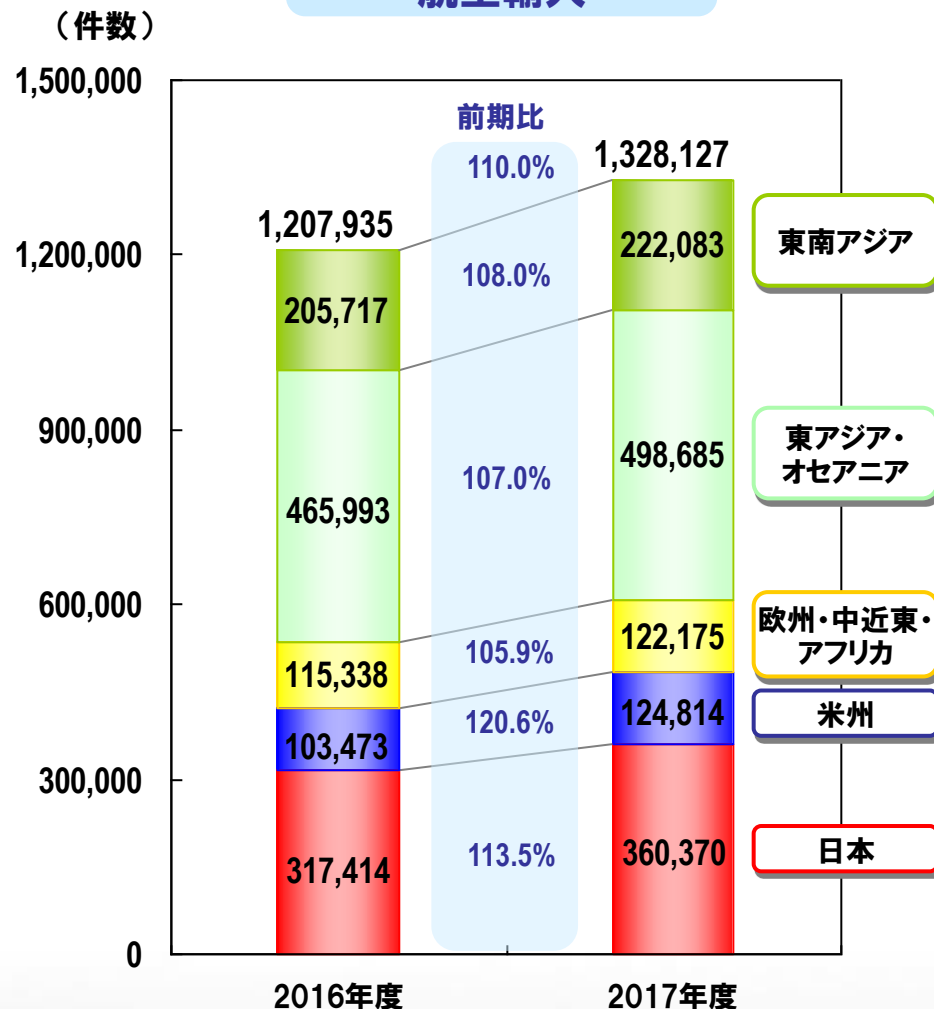
参考資料

セグメント別物量実績 (航空)

航空輸出



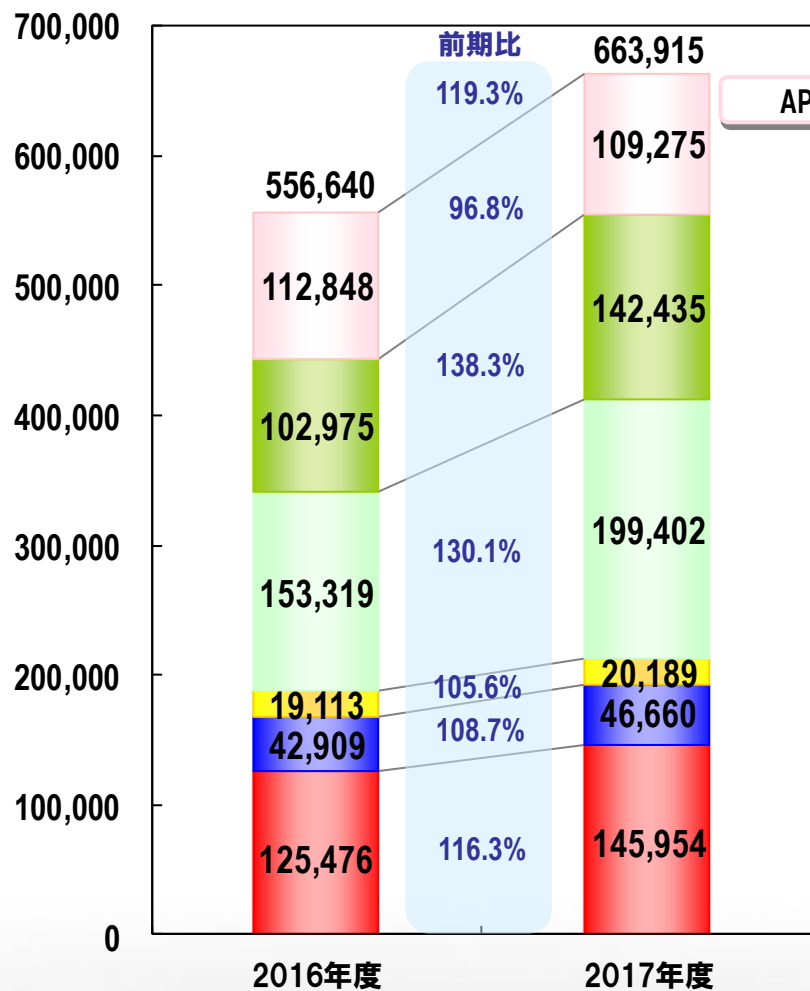
航空輸入



セグメント別物量実績 (海上)

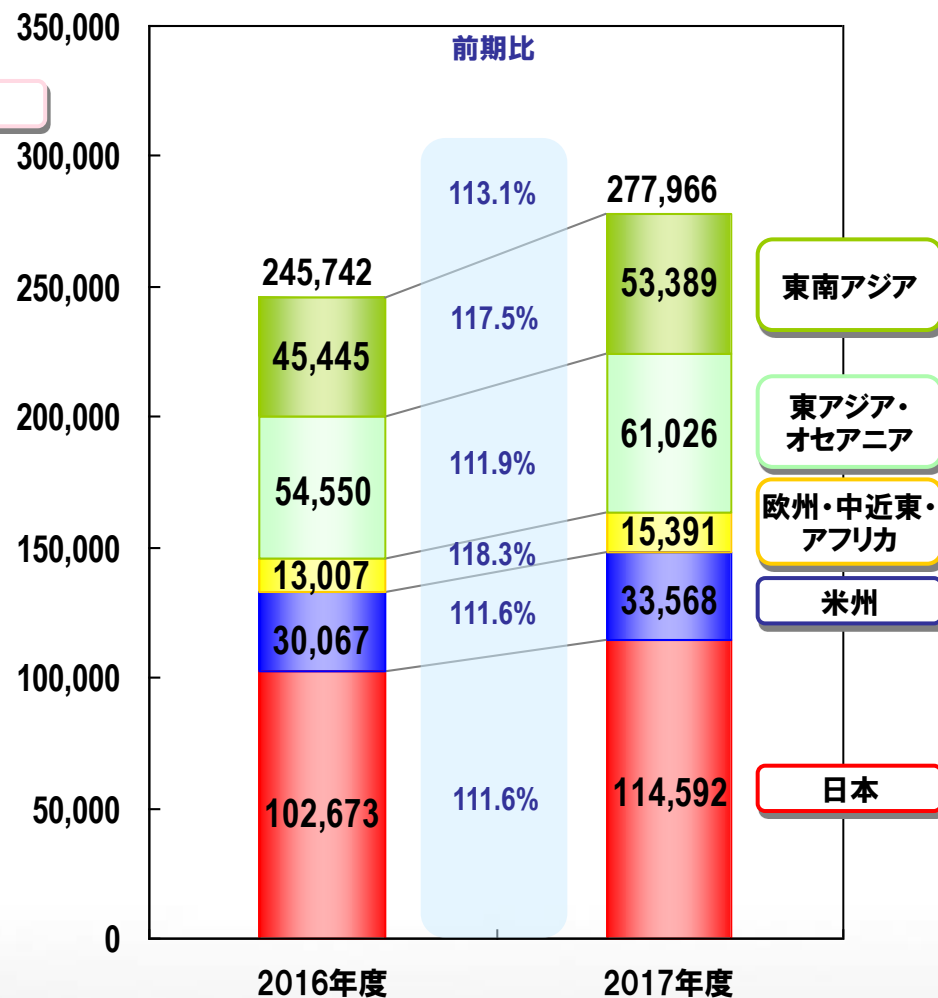
海上輸出

(容積:TEU)



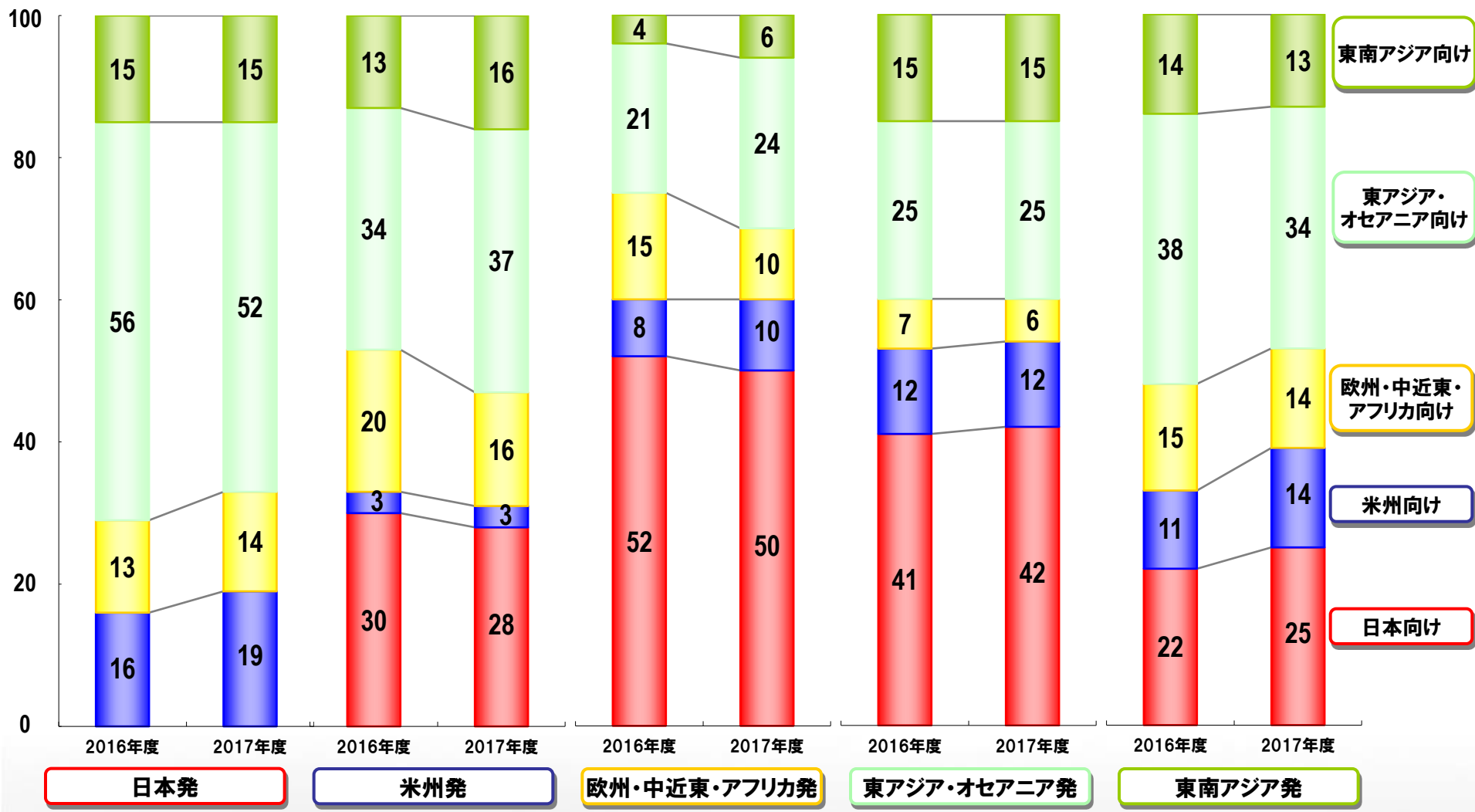
海上輸入

(件数)



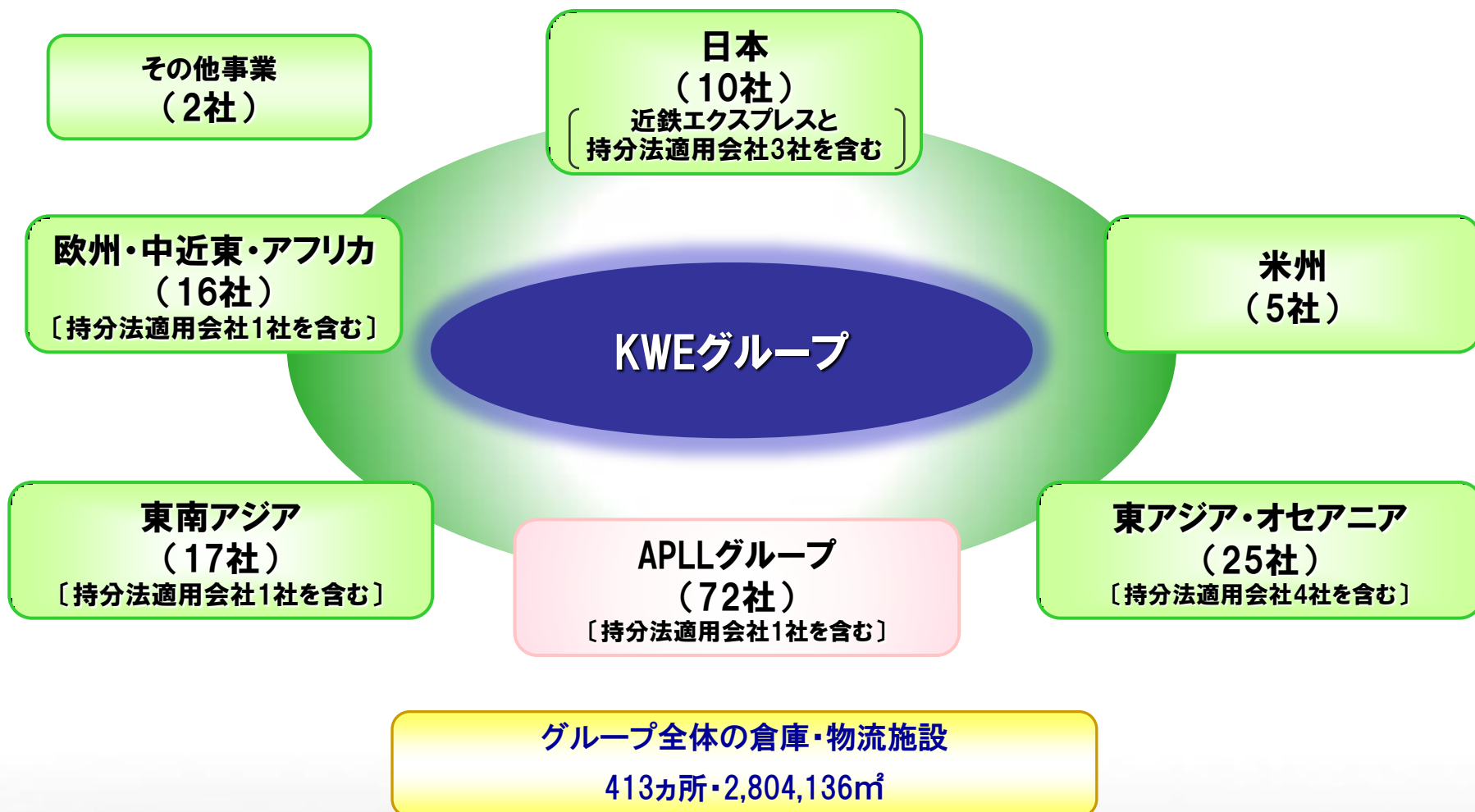
航空輸出物量取扱実績（仕向地別構成比）

（構成比：％）



当社グループのグローバル・ネットワーク

世界 46カ国 337都市 846拠点（2018年3月31日現在）



さすがだね、を世界中で。



Global Logistics Partner

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

株式会社近鉄エクスプレス 企画総務部 IR担当 木村、田中

TEL:03-6863-6443 FAX:03-5462-8501

ホームページ <https://www.kwe.co.jp>

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。